

第 33 回（2026 年度）新潟県看護協会看護学会 演題募集要項(投稿規程含む)

1. 開催要項

- 1) 開催 日：2026 年 12 月 17 日（木）
- 2) テー マ：「今、あらためて患者中心の看護を考える」
- 3) 会 場：朱鷺メッセ
- 4) 目 的：看護職の実践に根ざした学術研究の振興を通して、看護の質の向上を図り、人々の健康と福祉に貢献する。
- 5) プログラム：講演・一般演題（看護研究・実践報告）・セッション
- 6) 演題募集期間：2026 年 5 月 1 日（金）～6 月 19 日（金）
- 7) 参加申込期間：2026 年 7 月 1 日（水）～9 月 30 日（水）
- 8) 参加 費：会員 5,060 円 非会員 10,120 円 *集録のみ 1 冊 1,540 円
 学 校 5,060 円（代表者が会員の場合）
 10,120 円（代表者が非会員の場合）
 学生 2,090 円
 当日参加 会員 6,160 円 非会員 12,320 円
- 9) 主 催：公益社団法人 新潟県看護協会

2. 演題募集要項（投稿規程）

| | |
|------------------|--|
| 1. 演題応募資格 | ①研究発表者…2026 年度新潟県看護協会会員 ②共同研究者…2026 年度新潟県看護協会会員 ※応募前に会員手続きが完了しているか、登録済みか、必ず確認してください。 但し、看護職以外で共同研究を行った者は、共同研究者として登録原稿に記名できます。 |
| 2. 演題登録要件 | 登録する原稿は、倫理的に配慮された研究内容であり、その旨が本文中に明記され、かつ所属施設外（他学会・雑誌その他の出版物等）で未発表のものに限ります。 |
| 3. 種別 | 「研究」と「実践報告」の種別があります。 「研究」：調査等に基づく研究の成果についてまとめられた看護学の発展につながるもの 「実践報告」：臨床等の実践内容から得られた成果についてまとめられた、より高い看護実践につながる報告 |
| 4. 発表形式 | 口演 または 示説（演題登録時に選択してください） ※応募多数の場合は調整させていただく場合があります。 |
| 5. 演題申込・登録原稿提出方法 | ① 演題申込書（別紙 1） ② 演題登録原稿 演題登録原稿は 1 演題につき 2 部提出してください。 ホチキス留めはせず、クリップ留めとしてください。 ※2 部のうち 1 部は査読で使用するため、所属・氏名・倫理委員会名（含む番号）・ |

| | |
|------------------|---|
| | <p>利益相反がある場合の企業名は空白にしてください。</p> <p>③演題応募チェックリスト (別紙2)</p> <p>④自己申告による利益相反 (COI) 申告書 (別紙3)</p> <p>以上①～④を同封して、下記送付先へ郵送してください。</p> <p>〒951-8133 新潟県新潟市中央区川岸町 2-11</p> <p>新潟県看護協会学会 事務局 担当宛</p> <p>TEL : 025-265-1225</p> |
| 6. 登録原稿作成方法 | <p>② 「Ⅲ. 登録原稿作成方法について」に沿って作成してください。</p> <p>③ 書式は新潟県看護協会ホームページより「登録原稿テンプレート」(別紙4)をダウンロードして作成してください。その際、「登録原稿記載例」(別紙5)を参照してください。</p> |
| 7. 登録原稿の著作権について | <p>新潟県看護協会の看護学会集録に掲載された著作物 (Web 公開の発表データ等含む) の複製権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は新潟県看護協会に帰属いたします。</p> |
| 8. 倫理的配慮 | <p>倫理審査委員会での承認を受けたことを記載してください。</p> <p>所属施設に倫理審査委員会がなく、倫理審査委員会に相当する機関で承認を得た場合は「倫理審査委員会相当の機関から承認を得た」ことを記載してください。</p> |
| 9. 個人情報の取り扱いについて | <p>参加申し込み、演題申し込み等により新潟県看護協会に送付いただいた個人情報は、参加受付、本学会に関する通知、集録の発送、問い合わせのみに利用し、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはありません。</p> |
| 10. 演題の審査 | <p>①審査は、新潟県看護協会が依頼した査読者が行います。</p> <p>②審査結果は、すべての研究発表者あて8月上旬に文書で通知します。</p> <p>③審査の結果、修正を求められた場合は指定期日までに再提出してください。</p> |
| 11. 演題の採否 | <p>原稿の採否は、新潟県看護協会の学会委員会で選考の上、結果をお知らせします。</p> <p>なお、提出された原稿は採否に関わらず返却いたしませんので、ご了承ください。</p> |
| 12. 登録原稿データの提出 | <p>採択された方は、登録原稿データを下記メールアドレスまでご提出ください。</p> <p>新潟県看護協会 学会事務局 担当宛 gakkai2026☆niigata-kango.com (☆を@に置き換えてお送りください)</p> |

3. 演題応募から発表までの流れ

| 月 | 日 | 項目 |
|---|----|--|
| 2 | 27 | 演題登録お悩み相談会 (希望者のみ) |
| 5 | 1 | 演題応募 開始 |
| 6 | 19 | 演題応募 締切 (当日消印有効) 査読 |
| 7 | 1～ | 学会参加申し込み (～9/30) ※発表者及び共同研究者は申し込みが必要です。 |
| 8 | 6 | 査読審査結果 送付 (査読後、修正が必要なものについては、コメントも送付します) |

| | | |
|----|-----|---|
| 9 | 上旬 | 原稿修正 演題採否の連絡、発表方法等通知 登録原稿最終提出（メールにてデータ送信） 送信先：gakkai2026☆niigata-kango.com（☆を@に置き換えてお送りください） |
| 11 | 3 | 参加費支払い期限 |
| 11 | 中旬～ | 集録送付予定 |
| 12 | 17 | 第33回（2026年度）新潟県看護協会看護学会 |

4. 登録原稿の作成方法

1) 書式設定

- (1) 登録原稿は、必ず新潟県看護協会ホームページより、登録原稿テンプレート（別紙4）をダウンロードして原稿を作成してください。
ダウンロードした様式は、すべて書式設定済みのため、設定を変更しないでください。
- (2) 登録原稿枚数は、図表を含み、白色A4用紙3枚以内です。
- (3) 原稿は白黒で作成してください。図表・写真も白黒で判別できる明瞭なものにしてください。
- (4) 本文は「～である調」で記述し、下記の設定を厳守してください。

<設定>

- ① 1行の文字数：45文字 本文2段組24文字
- ② ページの行数：42行
- ③ 文字の大きさ：タイトル…14ポイント（1行目） サブタイトル…12ポイント（2行目）
所属施設の法人名等を含めた正式名称（部署名は入れない）、発表者・共同研究者、キーワード…10ポイント
本文…10ポイント
- ④ 字体：MS明朝体、全角で記載し、英字および数字は半角とする。
- ⑤ 余白：上部・下部・左右ともに20mmとする。
- ⑥ キーワードは3～5個程度入れる。
- ⑦ 句読点：「。」、「、」で記述する。
- ⑧ 図表は図表番号とタイトルを付け、図は下に、表は上に図表番号とタイトルを明記する。
- ⑨ 記号や単位は正しく記載する。
例) 推定糸球体濾過量 (estimated Glomerular Filtration Rate: eGFR mL/min/1.73 m²)
- ⑩ 略語を用いる場合は初めに正式名称を書き、その後省略する。
例) 生活の質 (Quality of Life: 以下 QOL とする)

2) 原稿構成（研究・実践報告共通）

I はじめに

- ・研究の社会的背景や歴史的経過、研究の意義、動機を明確に記す。先行文献を検討した旨を明記する。
- ・用語の定義がある場合は、段落を変え、「なお、本研究では〇〇を□□と定義する。」と記述する。

II 目的

- ・この研究では何を明らかにするのかを記す。

III 方法

- 1 研究期間* :
- 2 対象 :
- 3
- 1)
- (1)
- ①

*本協会では、研究期間とは研究計画書作成から論文投稿までの期間と定義します。

研究期間は、例として 2025 年 3 月～2026 年 3 月のように必ず表記してください。

研究の特性上、研究の調査期間が必要かつ個人の特定が懸念される場合は、調査期間として 20XX 年 Y 月～20XX+1 年 Y+2 月のように別に表記してください。

IV 倫理的配慮

研究の場合：必ず倫理審査委員会での承認を受けたことを記載する。

所属施設に倫理審査委員会がなく、倫理審査委員会に相当する機関で承認を得た場合は「倫理審査委員会相当の機関から承認を得た」ことを記載する。

対象者に行った倫理的配慮も簡単に記載してください。

例) 倫理審査委員会がある場合：本研究は、新潟倫理審査委員会の承認を得てから行った。

倫理審査委員会がない場合：本研究は倫理審査委員会にかえて、病院管理運営委員会から承認を得て行った。

実践報告の場合：倫理審査委員会での承認もしくは倫理的配慮を具体的に記載する。

V 結果

- ・～の結果・図表・図表の説明・検定結果の事実を客観的に記載する。解釈（考察・感想）は書かない。

VI 考察

- ・研究目的に沿って得られた結果の解釈・評価を先行研究と比較し、検討、問題点を述べ、看護への示唆や今後の課題について述べる。
- ・結果で記述しないことは考察できない。

VII 結論（箇条書きとする）

- ・研究目的を踏まえ、研究結果から明らかになった事や得られた成果を述べる。

1

2

利益相反の有無について記載

利益相反の有無に関わらず、すべての論文において記入してください。

開示すべき利益相反がない場合：例) 本論文に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

開示すべき利益相反がある場合：関連する団体名・企業名等を正確に記載してください。

文献（必ず使用した引用文献を記載する）

1)

※文献の引用について（日本看護学会誌投稿規定に準じて「APAスタイル」とする）

≪本文への引用≫

- 1) 文献は、本文中に著者名、発行年次を括弧表示するが、著者が複数の場合は筆頭者だけを挙げ、例) のように表示する。
例) …は〇〇と△△に分類される（佐藤ら，2019）。
- 2) 複数の異なる著者の文献を同一箇所引用する場合は、セミコロン「;」で区切って、筆頭著者のアルファベット順に並べる。
例) 〇〇と△△に焦点を当てた研究（小林，2019；高橋，2018）では、…。
- 3) 英文表記の氏名の場合は、「ファミリーネーム（姓），ファーストネーム（名）のイニシャル。（あればミドルネームのイニシャル）」となる。
例 1) Suzuki, T. ←Suzuki Taroh（鈴木太郎）の場合
例 2) Stuart, G. ←Gail Stuart（ゲイル・スチュアート）の場合
例 3) Mishel, MH. ←MH Mishel,（マール・H・ミシェル）の場合
- 4) 単行本からの本文引用が複数箇所にわたる場合は、文献リストには頁を記載せず、本文中の引用箇所に、下記例示のように該当ページを記載する。
例)（佐藤，2019，pp. 1-2）

≪文献リスト≫ 引用文献は登録原稿テンプレートの【文献】に以下のように記載する。

- 5) 文献リストは、著者姓のアルファベット順に並べ、同一の（共）著者による複数の文献は、単著を共著の前におき、出版年の昇順に並べる。著者名は3名までを表記し、4人目以降は省略して「ほか」「, et al」と記載する。文献が2行以上になる場合は、ぶら下げインデントで2行目以降を2マス下げる。

<雑誌掲載論文>

◆著者名．（発行年次）．論文題名．雑誌名，巻（号），頁-頁．

例) 黒江ゆり子，北山三津子．（2014）．看護実践研究の可能性と意義 その 1．岐阜県立看護大学紀要，14(1)，157-163．

Suzuki, A., Tanaka, E., Yamada, K., et al. (2009). A new mental health care model. Mental Health, 14, 46-55.

<単行本 >

同一書籍からの本文引用が1箇所の場合は、下記の書式例を使用する。単数ページの場合は「p. ○」、複数ページの場合は「pp. ○-○」で表記する。

◆著者名．（発行年次）．書名（版数）（p. 頁あるいは pp. 頁-頁）．発行元．

引用箇所が単数ページの場合 例)

鈴木太郎，佐藤花子．（2019）．看護実践研究入門（第2版）（p. 10）．看護実践研究出版．

引用箇所が複数ページの場合 例)

鈴木太郎，佐藤花子．（2019）．看護実践研究入門（第2版）（p. 10-15）．看護実践研究出版．

◆著者名．（発行年次）．表題名．編者名（編），書名（版数）（p. 頁あるいは pp. 頁-頁）．発行元．

引用箇所が単数ページの場合 例)

鈴木太郎．（2019）．看護実践研究のすすめ．小林次郎，佐藤花子（編），看護実践研究入門（第2版）（p. 100）．看護実践研究出版．

引用箇所が複数ページの場合 例)

鈴木太郎. (2019). 看護実践研究のすすめ. 小林次郎, 佐藤花子(編), 看護実践研究入門(第2
□□版)(pp. 100-110). 看護実践研究出版.

<翻訳書>

◆原著者名. (原書の発行年次)/(翻訳書の発行年次). 翻訳者名(訳), 翻訳書名(版数)(pp. 頁-頁). 発行元.

例) アメリカ心理学会. (2010/2011). 前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦(訳), APA 論文作成マニユ
□□アル(第2版)(pp. 192-193). 医学書院.

<電子文献>

◆著者名またはサイト設置者名. (発行年次). タイトル. 入手日(アクセス日).

アドレス例)

厚生労働省. (2020). 看護基礎教育検討会報告書. 2021-2-26.

□□<https://www.mhlw.go.jp/content/10805000/000557411.pdf>

6) 同一著者、同一出版年の複数の文献はタイトルのアルファベット順に並べ、出版年の直後にアルファベット小文字で a から順番に添え字を付す。

例) 鈴木太郎. (2018). . . .

鈴木太郎. (2019a). 看護実践の

鈴木太郎. (2019b). 看護実践上の課題における

鈴木太郎, 佐藤花子. (2019). . . .

鈴木太郎, 小林次郎, 佐藤花子ほか. (2019). . . .

7) 文献リストの表示にあたっては、カンマ「,」やピリオド「.」は半角で、後ろに半角スペース(空白)を1文字分とり、括弧()は半角で表記する。

8) 図表は鮮明でなければならず、モノクロで作成する。印刷・製版に不適當な図表は、書換え・割愛を求める。

9) 補足説明のための註をつける場合は、本文中に括弧書きで註の通し番号を記し、後註として本文(考察、結論等)の末尾、謝辞・文献の前に説明を記す。

5. 倫理的配慮について

1) 個人情報を適切に取り扱っている。

個人情報の取扱いは、「個人情報保護法」、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」(個人情報保護委員会・厚生労働省、平成29年、令和4年一部改正)「看護職の倫理綱領」(日本看護協会、令和3年)「看護研究における倫理指針」(日本看護協会平成16年)「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(文部科学省・厚生労働省・経済産業省令和3年、令和4年一部改正、令和5年一部改正)および所属施設の規定に従い、研究倫理審査委員会の承認を受けることが必須となる。

記載例) A病院の倫理審査委員会の承認を得た。(承認番号〇〇〇)

指針の対象外で倫理審査委員会を受けていない場合も、研究報告の過程で行った倫理的配慮を記載する。

記載例) 対象者には、個人が特定されないよう匿名化することと情報の管理について、また、学術集会で症例報告として発表することを書面で説明し、同意書をもって同意を得た。

2) 先行文献を調べて活用しているか。

すでに研究成果が出ているテーマをくり返し研究することは倫理的に問題があると考えられる。そのため先行研究を調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明確にすることが大切である。

3) 研究フィールドや研究対象者が特定されないように配慮している。

(1) 論文要旨の記述内容で研究者の所属や研究対象者が特定できないようにする。

(2) 固有名詞(当院・当病棟も含む)や写真等を掲載する場合は、研究結果を示すのにどうしても必要なもののみとし、研究対象者が特定できないように十分配慮する。掲載の承諾を得られた旨を明記する。

(3) イニシャルや入院期間などの記載は、対象者が特定されプライバシーを侵害する恐れがある。

| ×不適切な例 | ○適切な例 |
|--------------------------|---------------------|
| 当院、当病棟 S.N氏、57歳 | A病院、B病棟 X氏、50歳代 |
| 入院期間： 2024年4月15日～6月1日 | 入院期間： 20XX年4月～6月 |

4) 所属施設に倫理審査委員会がなく、倫理審査委員会に相当する機関で承認を得た場合は「倫理審査委員会相当の機関から承認を得た」ことを記載する。

5) 研究対象者からの研究承諾について明記されている。

研究対象者に研究目的・研究方法および研究結果の公表等について説明し、対象者の自由意志で承諾が決められるように配慮し、承諾を得られた旨を明記する。

6) 研究対象者に不利益や負担が生じないよう配慮されている。

研究への参加・不参加によって、対象者の不利益や負担が生じないよう配慮した旨を記載する。

7) 著作権への配慮がなされている。

(1) 文献から本文を引用する場合は、出典を明記する。

(2) 図・表を本文に引用する場合は、著作権に配慮し、出典を明記する。

(3) 既存の尺度を使用する場合、著作者から許諾を得ている旨を記載する。

8) 利益相反の有無について明記する。

「利益相反」とは、臨床と企業間での共同研究の場合に、公的利益(得られる成果を社会へ還元する)と私的利益(個人が取得する金銭、地位、利権など)が研究者個人の中に生じる状態のことを指す。看護研究では企業から無償で提供された器材を使ったり、企業や営利団体から研究費の提供を受ける場合もあり、利益相反そのものは問題ではない。しかし、そのような経済的な利益関係などにより、研究に弊害が生じることが問題となる。そのため、公表資料(発表資料、論文等)に利益相反の有無を記載し自己申告することにより、その研究結果の中立性と公明性を確保して研究の責務を適正に果たしていることを実証する必要がある。

・データの作成に際し、発表者及び共同研究者の全員について、研究に関する企業、団体等との学会開催時から遡って3年以内の利益相反状況の申告が必要です。

登録原稿では本文の最後(文献の前)に記載してください。

6. 発表について

- ・発表形式（口演・示説）につきましては、採択決定後に通知する。
- ・口演の場合は、パワーポイントを使用したスライドデータ（スライドサイズ 4:3）で発表する。
1 演題 7 分の発表の後、質疑応答を 3 分設ける。
スライドの作成については、「パワーポイントテンプレート」をダウンロードし使用する。
- ・発表スライドの 2 枚目に利益相反の有無を入れてください。

記載例)

<利益相反がある場合>

本演題発表に関連して、過去 1 年間に〇〇社から研究者所属の看護部への委託研究費、奨学寄附金などの研究費、及び個人的な講演謝礼を受けている。

<利益相反がない場合>

本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

- ・示説の場合は、横 90 cm×縦 160 cm 範囲内とする。
ポスターの作成については「ポスターセッションの案内」をダウンロードして参照する。

7. 参加申込

発表者と共同研究者は参加申し込みが必要となります。

参加申し込みについては新潟県看護協会ホームページの 2026 年度「看護学会」を参照する。